



AIAI

2027年3月期 第1四半期決算の概要

AIAIグループ株式会社

証券コード：6557

目次

1. 2027年3月期第1四半期 実績
2. 2027年3月期 業績予想
3. M&A
4. 主要KPI
5. Appendix

1. 2027年3月期 第1四半期実績



2027年3月期 第1四半期 業績概要（損益計算書）

AIAI

2027年3月期1Qは、売上高62.8億円(前年同期比＋29億円、＋85.5%)、営業利益3.1億円(同＋1.4億円、＋83.1%)、EBITDA6.6億円(同＋3.2億円、＋95.7%)となり、モード・プランニング・ジャパン（以下「MPJ」）の連結初四半期として大幅な増収増益を達成。

既存事業もAIAI NURSERYの公定価格上昇・充足率向上、AIAI PLUSの売上伸長により堅調に成長。統合初年度ののれん償却を吸収して営業増益を確保し、親会社株主に帰属する四半期純利益は1.8億円(同＋0.5億円、＋35.1%)。

(百万円)	2026年3月期第1四半期		2027年3月期第1四半期		前年同期比 増減	前年同期比 増減率
		構成比		構成比		
売上高合計	3,387	100.0%	6,284	100.0%	＋2,897	＋85.5%
売上原価	2,836	83.7%	5,186	82.5%	＋2,350	＋82.9%
売上総利益	550	16.2%	1,097	17.5%	＋547	＋99.2%
販売管理費	383	11.3%	790	12.6%	＋407	＋106.3%
EBITDA	338	10.0%	662	10.5%	＋324	＋95.7%
営業利益	167	4.9%	307	4.9%	＋140	＋83.1%
経常利益	148	4.4%	435	6.9%	＋287	＋193.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	135	4.0%	183	2.9%	＋48	＋35.1%

売上高

MPJのPL連結開始による寄与に加え、AIAI NURSERYの園児数増加、既存施設の公定価格上昇、AIAI PLUS・REST・VISITの伸長等により、前年同期比85.5%増。

営業利益

のれん償却費の増加や、保育士の処遇改善に伴う人件費等の費用増加があったものの、増収効果によりこれを吸収し、前年同期比83.1%増の307百万円。

親会社株主に帰属する四半期純利益

雲母保育園の補助金収入等による営業外収益の増加があった一方、M&A資金調達に伴う支払利息の増加、税負担の増加等により、前年同期比35.1%増の183百万円。

(単位未満切捨。小数点第2位以下四捨五入)



四半期決算推移

AI&I

・売上高原価

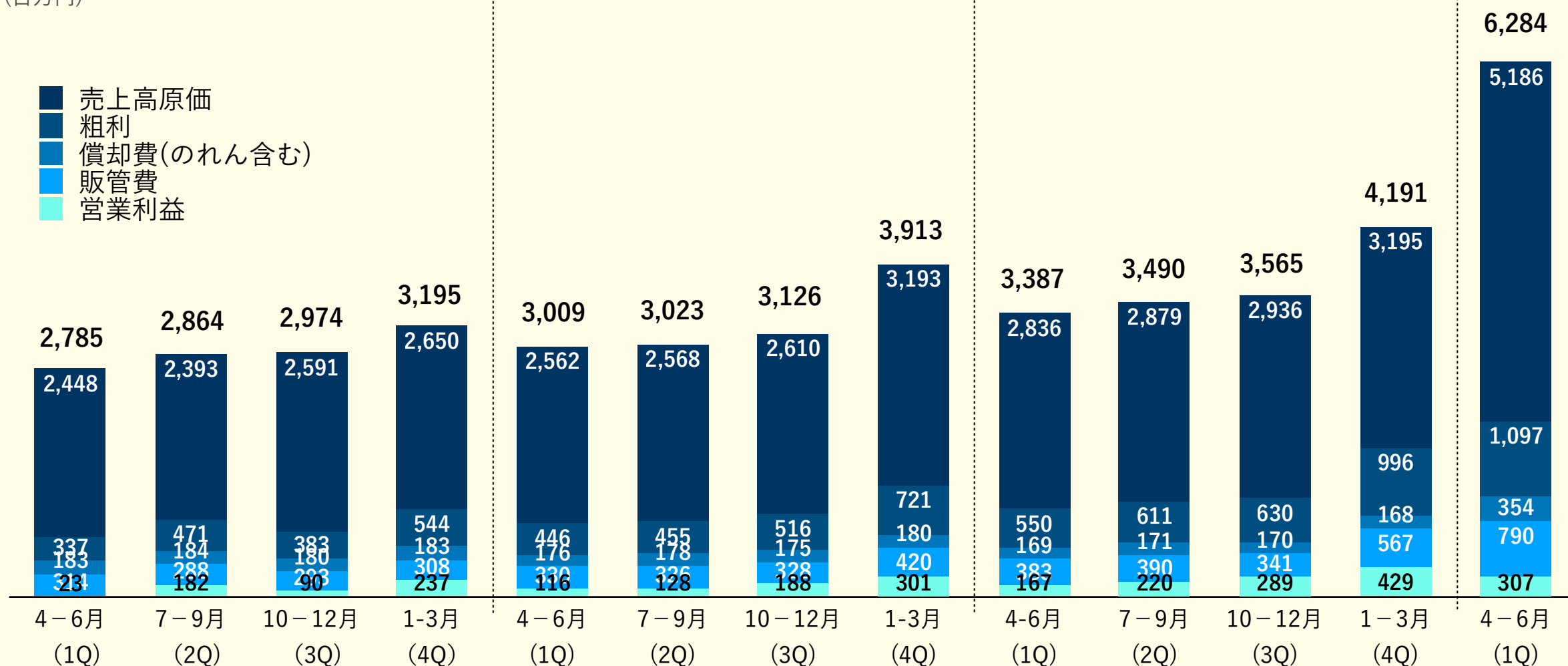
売上高原価率は82.5%と前年同期の83.7%を1.2pt下回る水準で推移。前四半期(76.2%)比では上昇したが、これは第4四半期に公定価格等の年度末精算が計上され原価率が低下する季節性によるもの。

・販管費

前年同期比+407百万円。MPJのPL連結開始に伴う諸費用増加、及びのれん償却費の増加による。

(百万円)

■ 売上高原価
■ 粗利
■ 償却費(のれん含む)
■ 販管費
■ 営業利益



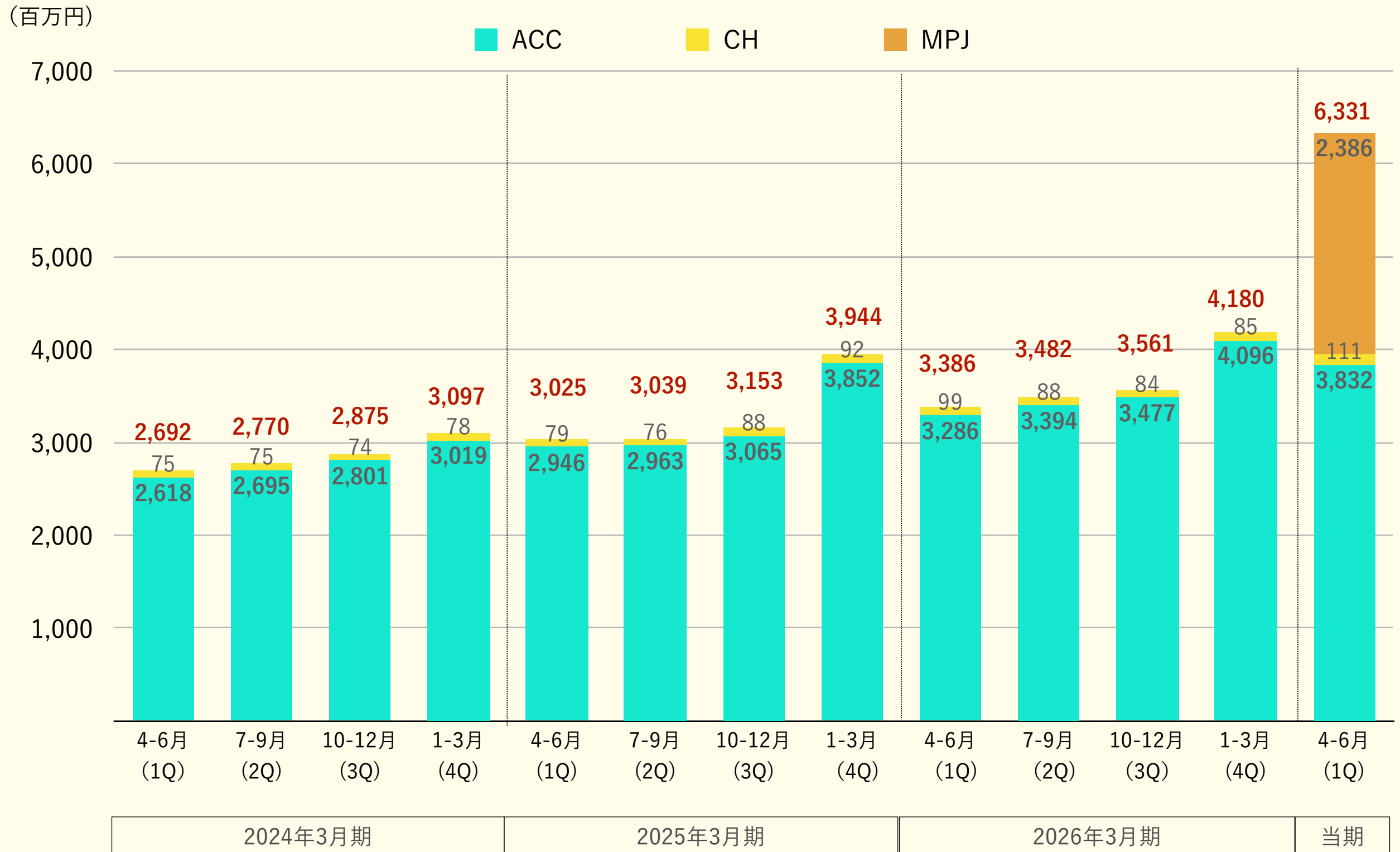
	2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期				当期
営業利益率	0.8%	6.4%	3.0%	7.4%	3.9%	4.2%	6.0%	7.7%	4.9%	6.3%	8.1%	10.2%	4.9%
EBITDA	—	—	—	—	292	307	363	481	338	390	480	595	662

(単位未満切捨)



子会社別売上高推移

AI&I

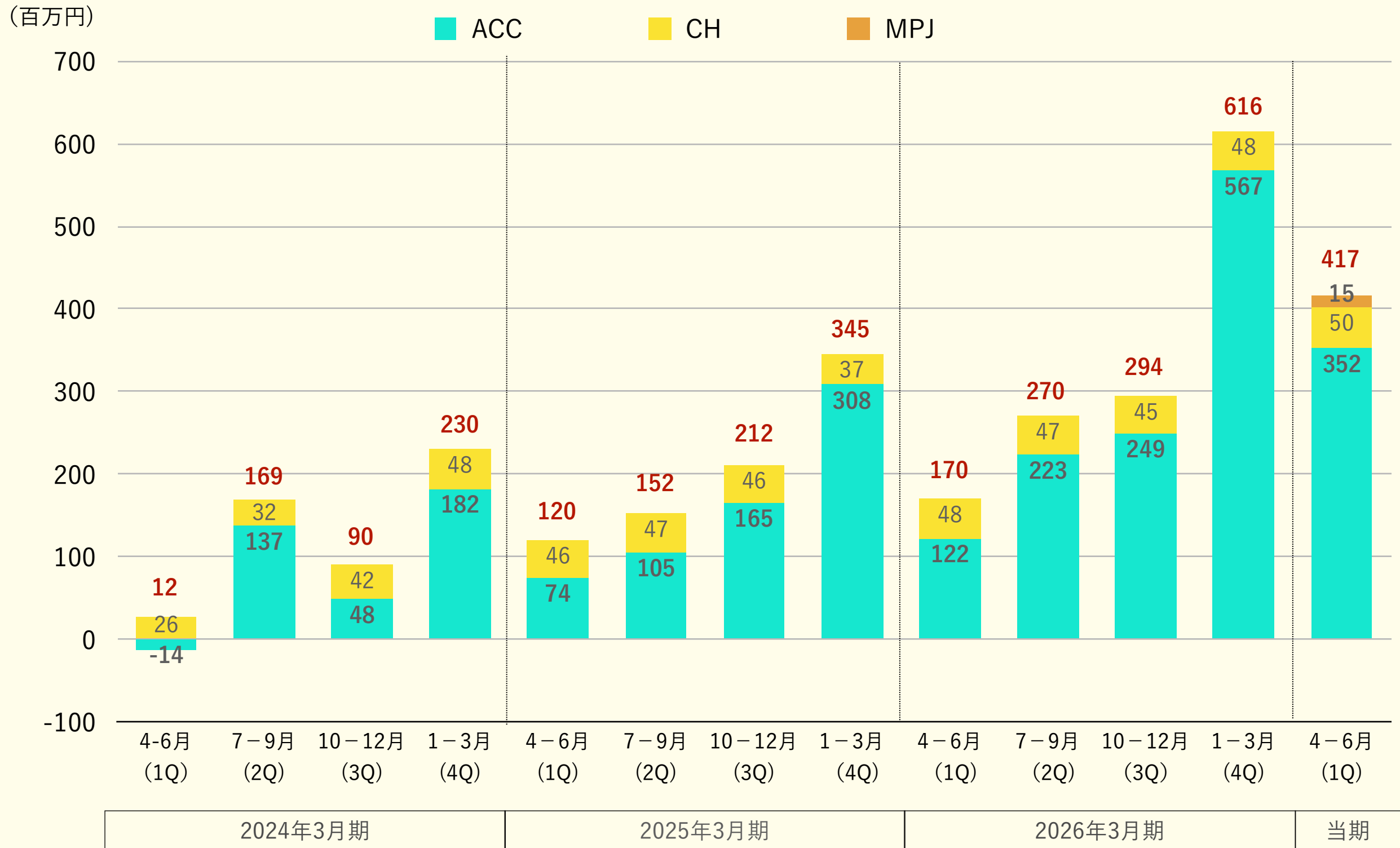


(単位未満切捨、赤字は合計。各社数値は内部取引その他の連結消去・調整前の数値であり、表示額の合計値は連結売上高と一致しない場合があります。)



子会社別営業利益推移

AI&I



(単位未満切捨、赤字は合計。各社数値は内部取引その他の連結消去・調整前の数値であり、表示額の合計値は連結営業利益と一致しない場合があります。)



2027年3月期 連結貸借対照表

AIAI

			2026年3月期				2027年3月期
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
(百万円)							
資産	流動資産	現金及び預金	2,386	1,710	1,625	4,105	2,936
		その他	1,287	1,427	1,570	3,542	2,122
	固定資産	株式等	997	926	839	841	907
		のれん	62	51	40	8,219	8,113
		施設設備等	5,721	5,623	5,556	8,223	8,301
		その他	1,187	1,185	1,116	1,975	2,071
	資産合計		11,641	10,923	10,749	26,907	24,451
負債	有利子負債		6,230	5,858	5,627	19,423	17,200
	その他		2,299	2,207	2,127	4,236	3,776
純資産	資本金(資本剰余金含む)		1,830	1,830	1,847	1,862	1,862
	利益剰余金		723	835	1,019	1,252	1,435
	その他		557	191	127	131	176
負債：純資産合計			11,641	10,923	10,749	26,907	24,451

現金及び預金

借入金返済等により前期末比1,169百万円減の2,936百万円。前年同期比では550百万円増。

のれん

2026年3月期第4四半期に株式会社きららグループホールディングス（当第1四半期にMPJを存続会社とする吸収合併により消滅）株式等取得により計上したのれん償却により、前期末比106百万円減の8,113百万円。前年同期比では8,051百万円増。

施設設備等

AIAI NURSERY2施設、雲母保育園2施設の新規開設に伴う施設整備等により前期末比77百万円増の8,301百万円。

資本金(資本剰余金含む)

前期末から変動なし。

(単位未満切捨)

2. 2027年3月期 通期業績予想



2027年3月期 連結業績予想

AIAI

2027年3月期通期の業績予想に対する進捗は、第1四半期時点において概ね計画に沿って推移。経常利益の進捗率は43.5%と高水準だが、これは主に雲母保育園の設備補助金収入を第1四半期に計上したことによるもの。

第2四半期以降は、「AIAI三育圏」拡大に向けたM&A費用を織り込みつつ、通期業績予想は当初予想(2026年5月8日公表)を据え置く。

	2026年3月期 実績	2027年3月期 業績予想	1Q実績	進捗率
売上高合計	14,633	26,000	6,284	24.2%
EBITDA	1,783	2,700	662	24.5%
営業利益	1,105	1,200	307	25.6%
経常利益	933	1,000	435	43.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	621	700	183	26.1%

(単位未満切捨。小数点第2位以下四捨五入)

3. M&A



本件の概要

AIAI

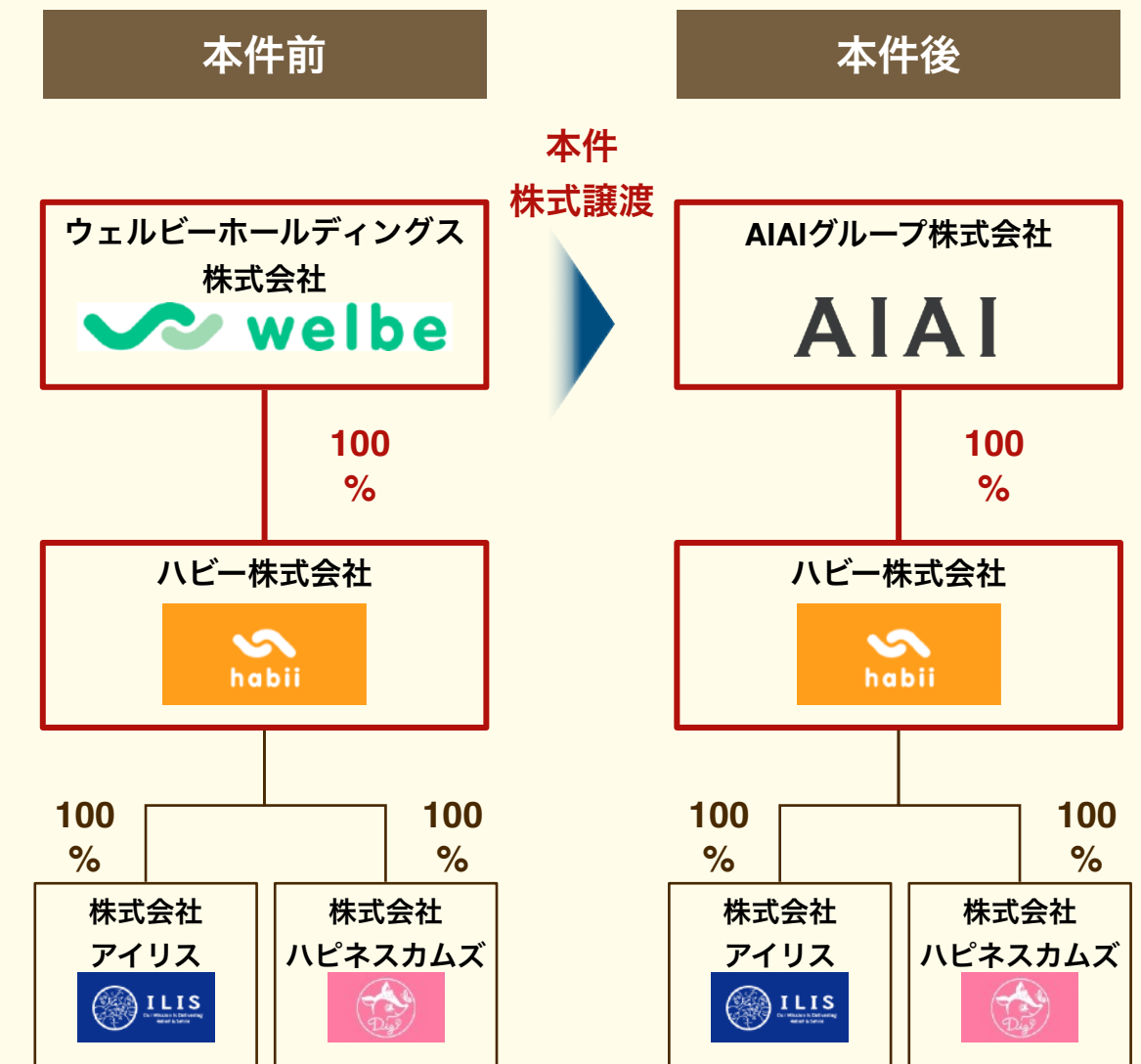
- ウェルビーホールディングス株式会社では、「すべての人が希望を持てる社会」の実現を経営理念に掲げ、就労事業、療育事業、ナーシング（介護・看護）事業の3事業を軸に、幅広い福祉サービスを展開。
- ハビー株式会社は、ウェルビーホールディングス株式会社における療育事業を司っており、児童発達支援や放課後等デイサービス等の多機能事業所を全国で運営。業界内屈指の拠点数と大規模ネットワーク、そして高い品質を誇る。
- A I A I グループではA I A I 三育圏（保育×療育×教育）の早期拡大を企図し、本件M&Aを決議。

本件取引概要

対象会社	ハビー株式会社 - 株式会社アイリス - 株式会社ハピネスカムズ
売り手企業	ウェルビーホールディングス株式会社
本件決議日 および公表日	2026年7月24日（金）
譲渡契約締結日	2026年7月24日（金）
クロージング日	2026年9月1日（火） 予定
取得価額	3,250百万円（持株比率：100%）
ストラクチャー	現金対価でハビー株式会社の株式を100%取得
資金調達	金融機関からの借入による調達を予定
財務への影響	2027年3月期第2四半期より連結予定

* 対象会社の業績・財務情報、本件による業績予想への影響及びPMIの定量効果については現在精査中です。株式譲渡実行後、開示可能となり次第、速やかに公表します。

本件ストラクチャー





対象会社の概要

AIAI

- 2012年の児童福祉法改正以降、療育市場への新規参入企業が急増する中、対象会社グループでは早期に参入。仕組みを体系化しながら、日本全国に大規模展開していくことに成功した実績を非常に高く評価。

会社概要

会社名	ハビー株式会社
設立	2025年12月15日
本社所在地	東京都中央区銀座二丁目3番6号
代表者	代表取締役社長：中里 英之
主要株主	ウェルビーホールディングス株式会社（100%）
事業内容	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児相談支援
従業員数	704名（2026年5月1日時点）

療育事業の特徴

1. 直営71拠点の大規模ネットワーク

未就学から学齢まで幅広い層を支援する屈指の体制

2. 高い専門性

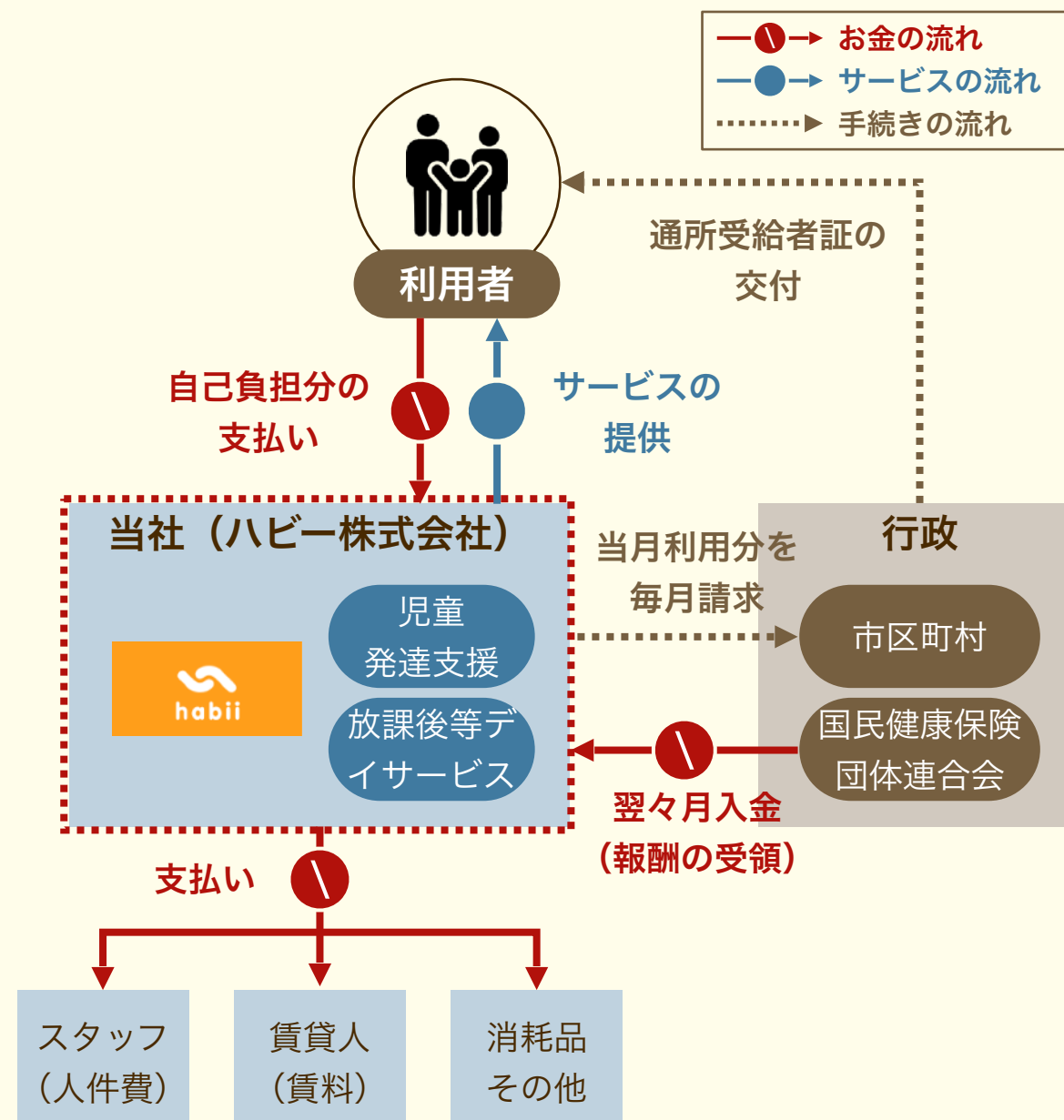
AIAIの療育事業において強化していくABA（応用行動分析）とSST（社会生活技能訓練）を基盤にした体系化された支援内容

3. 高い育成力と運営品質

有資格者の採用、研修体系、強固なガバナンスが、支援の再現性を担保

ビジネスモデル

- 児童福祉法及び障害者総合支援法に基づくサービスを運営
- 利用者のサービス利用日数に応じて、利用者及び行政から報酬を受領するビジネスモデル



4. 主要KPI



AIAIの主要KPI

A I A I グループには、5つの主要KPIがあり、充足率（保育事業）、稼働率（療育事業）、訪問率（訪問事業）、加入率（業務支援）、稼働率（派遣）の割合を高めることで生産性向上に努める。

	項目		件数		率		単価
1	NURSERY 保育事業	=	利用定員	×	充足率	×	利用単価
2	PLUS・REST 療育事業	=	利用枠	×	稼働率	×	利用単価
3	VISIT 訪問事業	=	訪問可能枠	×	訪問率	×	訪問単価
4	CHaiLD 業務支援	=	直営園児数	×	加入率	×	利用単価
5	キララサポート 人材派遣	=	派遣時間数	×	稼働率	×	利用単価

* 訪問可能枠は訪問支援が毎月2回／人が上限のため契約件数の2倍とする
* 業務支援は、システム・写真・幼児教材の販売



AIAI NURSERYの園児数と充足率

- 新年度の園児入れ替えに伴い、4月に一度低下した定員に対する充足率は順調に回復。
- 2026年6月の充足率は過去最高の97.0%まで上昇した。

園児数の状況

年齢	園児数	充足率
0歳児	448	92.6%
1歳児	933	102.9%
2歳児	1,009	101.6%
3歳児	1,028	97.4%
4歳児	973	92.2%
5歳児	981	93.8%
合計	5,372	97.0%

2026年6月

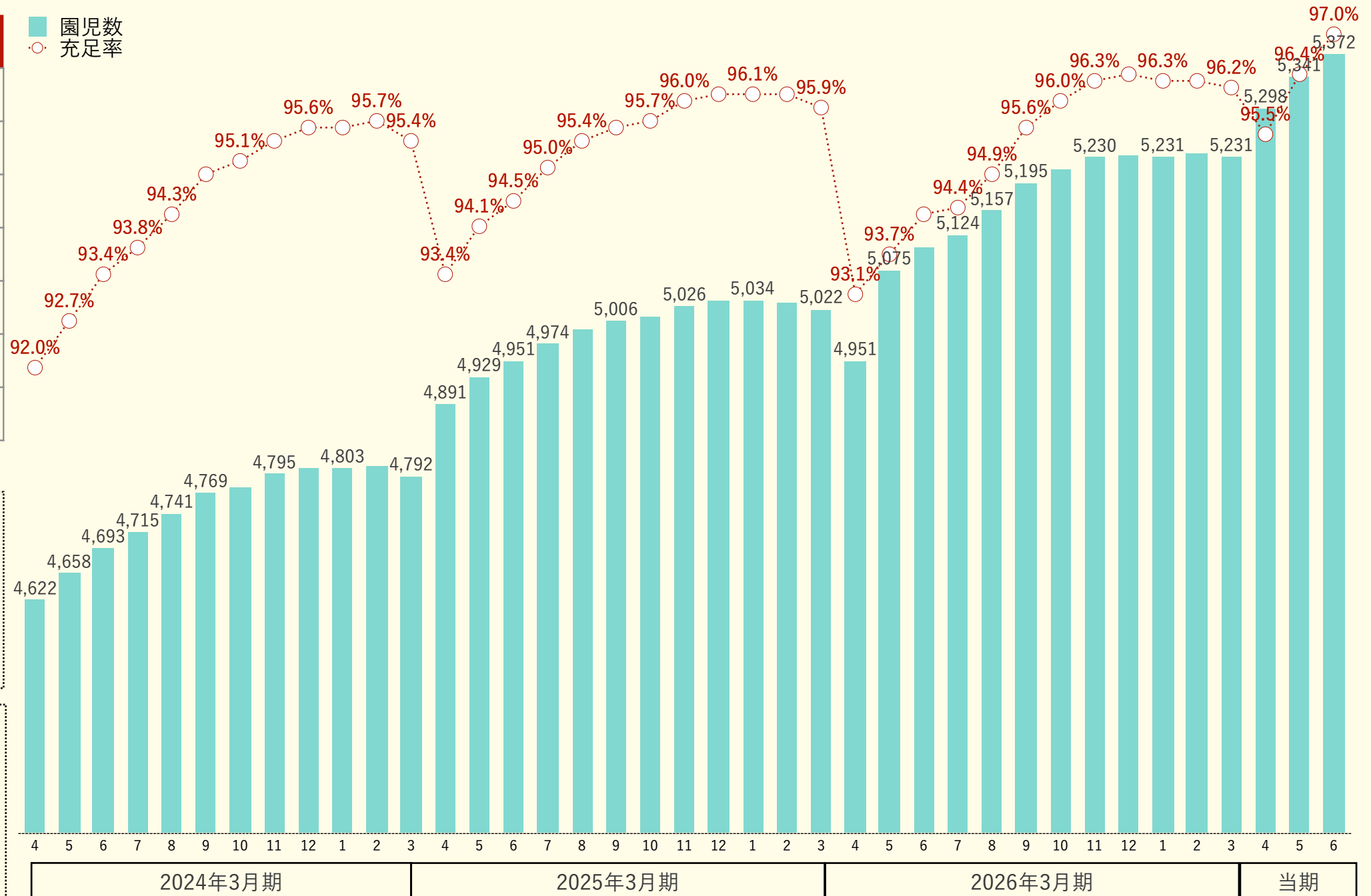
園児数

新年度の園児受け入れが順調に進み、2026年6月は5,372名と過去最高を記録。

充足率

4月の95.5%から1.5pt改善、6月は97.0%と過去最高を記録。

園児数及び充足率の状況





雲母保育園の園児数と充足率

AIAI

- 新年度の園児入れ替え後、園児数、定員に対する充足率ともに改善。
- 2026年6月は3,777名と過去最高を記録。

園児数の状況

年齢	園児数	充足率
0歳児	331	78.8%
1歳児	714	97.7%
2歳児	741	93.8%
3歳児	677	88.7%
4歳児	664	91.7%
5歳児	650	89.9%
合計	3,777	91.0%

2026年6月

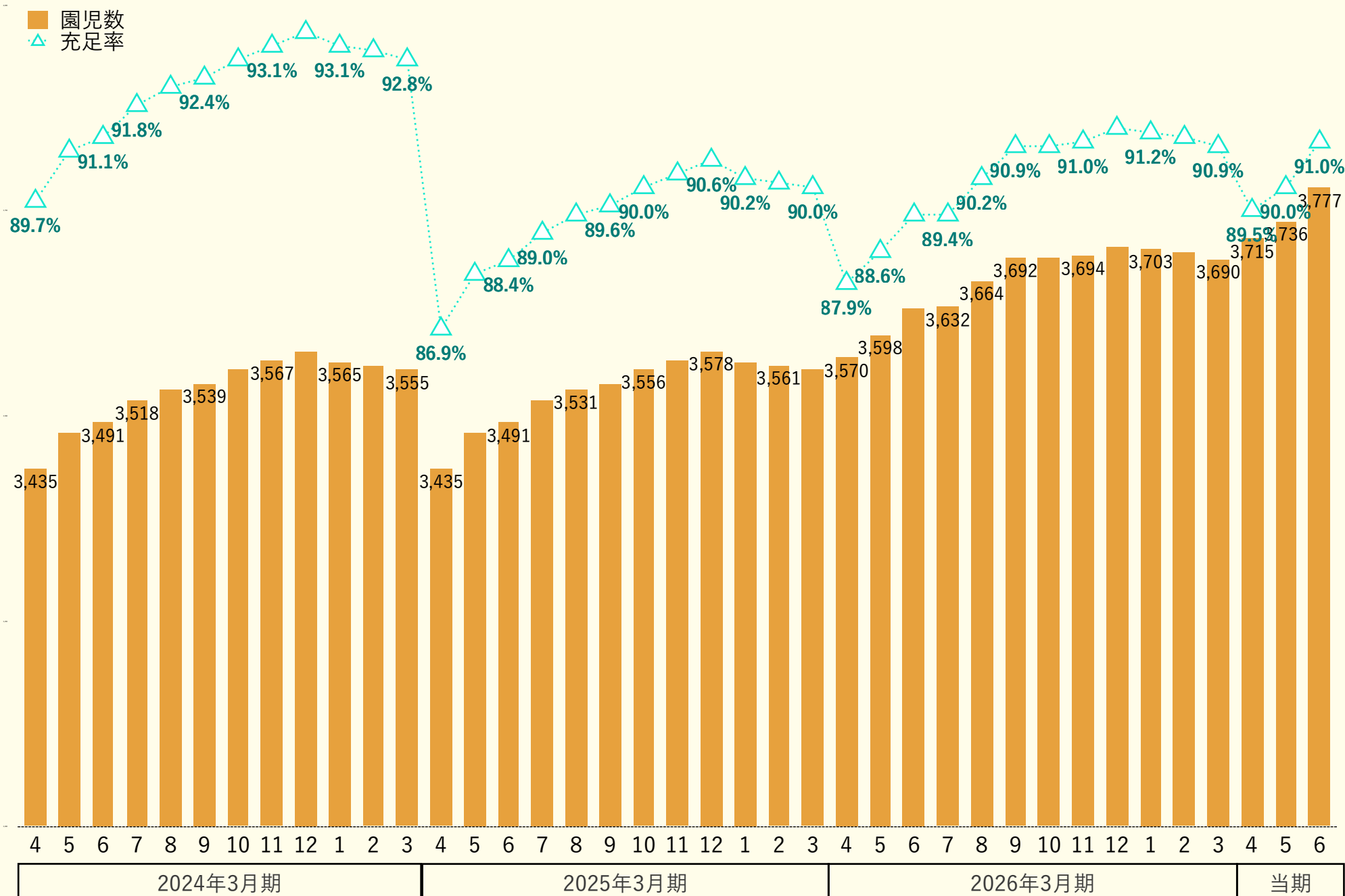
園児数

4月の園児入れ替えが順調に進み、2026年6月は3,777名と過去最高を記録。

充足率

4月の89.5%から6月は91.0%へ1.5pt改善。7月以降0歳児の増加で更に向上。

園児数及び充足率の状況





AIAI PLUS・RESTの利用者数と稼働率

- 新年度の利用者入れ替えにより稼働率は4月に一時低下したものの、その後順調に回復。
- 雲母保育園との連携により、更なる利用者数増と稼働率向上に努める。

* 稼働率 = 利用実績 / 利用可能枠。自治体によっては120%まで利用可能。

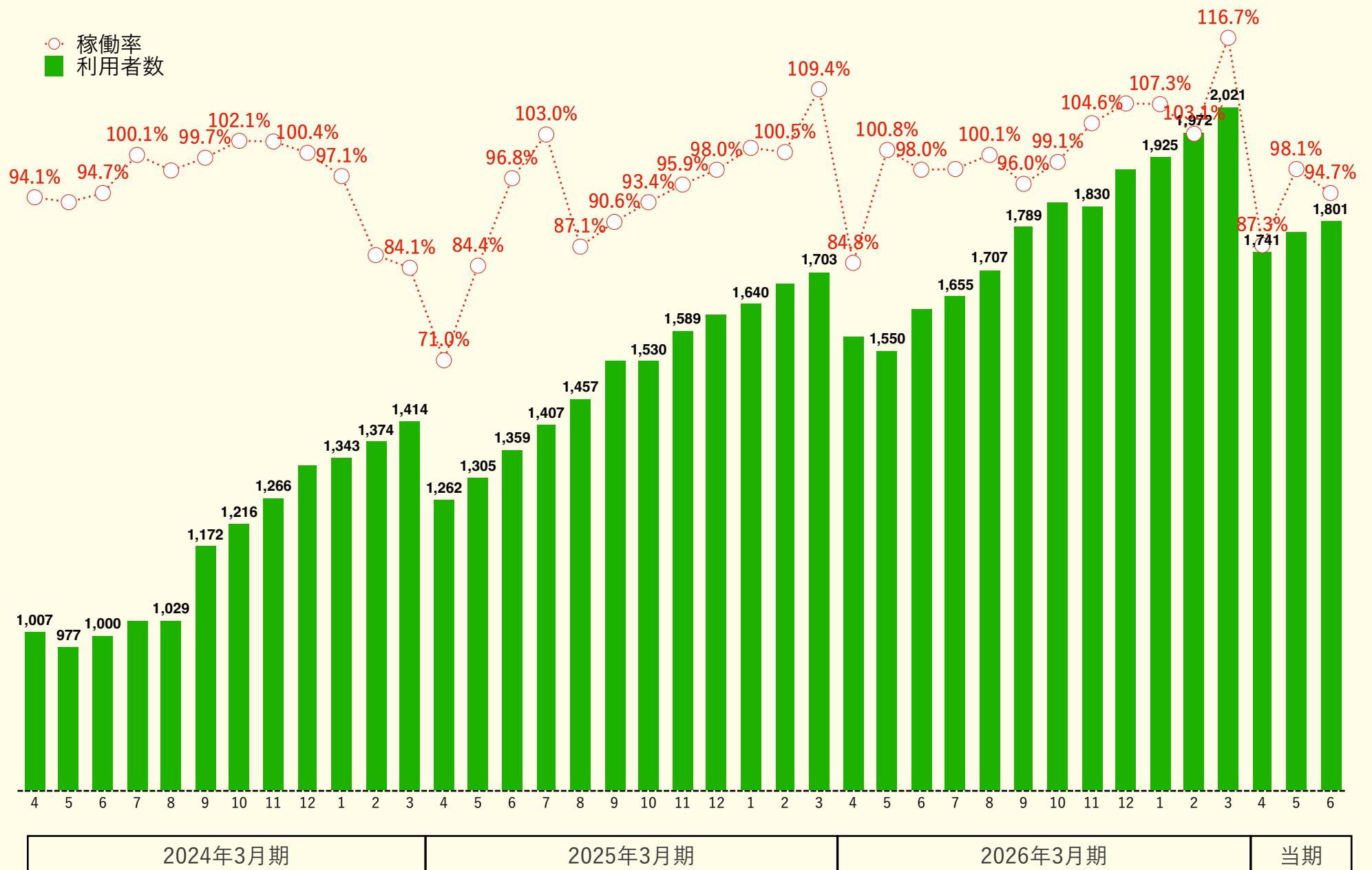
利用者数

4月の1,741名から6月は1,801名へ拡大基調が継続中。

稼働率

4月の87.3%から6月は94.7%と高水準を維持してきている。

利用者数と稼働率





AIAI VISITの訪問支援回数と訪問率

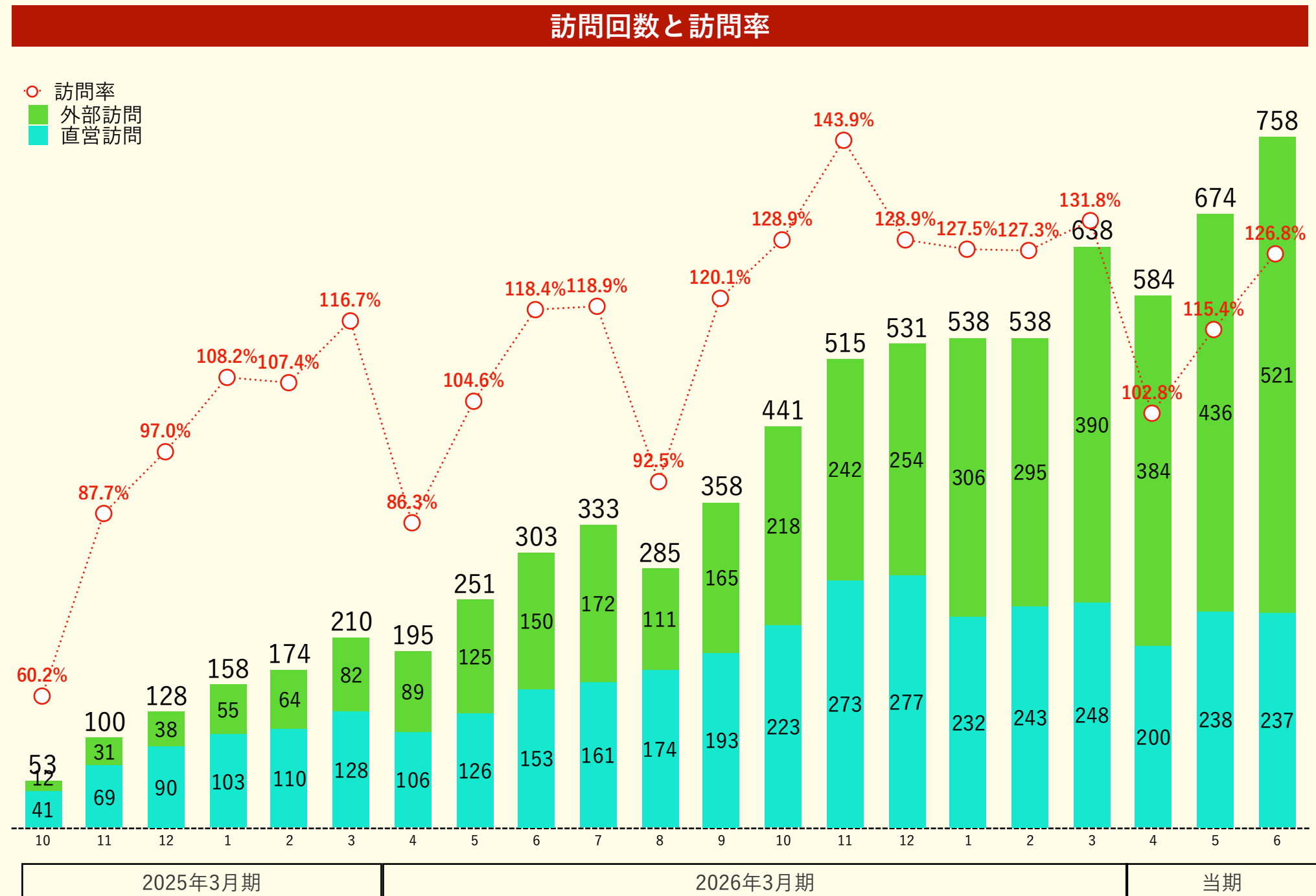
- 直営園の訪問を基軸に、外部園への訪問を積み重ね、2026年6月は過去最高の758回。
- 6月の訪問率は126.8%となり、直営園、外部園訪問の双方が拡大。

訪問回数

2026年6月は前年同月303件から2.5倍に拡大。雲母保育園との連携により、直営園訪問回数増を目指す。

訪問率

訪問率は直近3カ月で上昇し、2026年6月は126.8%。契約件数の増加に加え、1契約当たりの訪問回数も増加している。





PLUS・REST・VISITの合計訪問支援回数と単価

- 訪問回数は2026年6月度に過去最高の2,127回となり、前年同月比53.6%増。
- 訪問単価も1.88万円へ上昇し、回数、単価の双方が売上増を牽引。

訪問回数

2026年6月訪問回数は過去最高の2,127回を記録。
職員の配置拡大と直営園との連携により、更なる回数増加を計画。

訪問単価

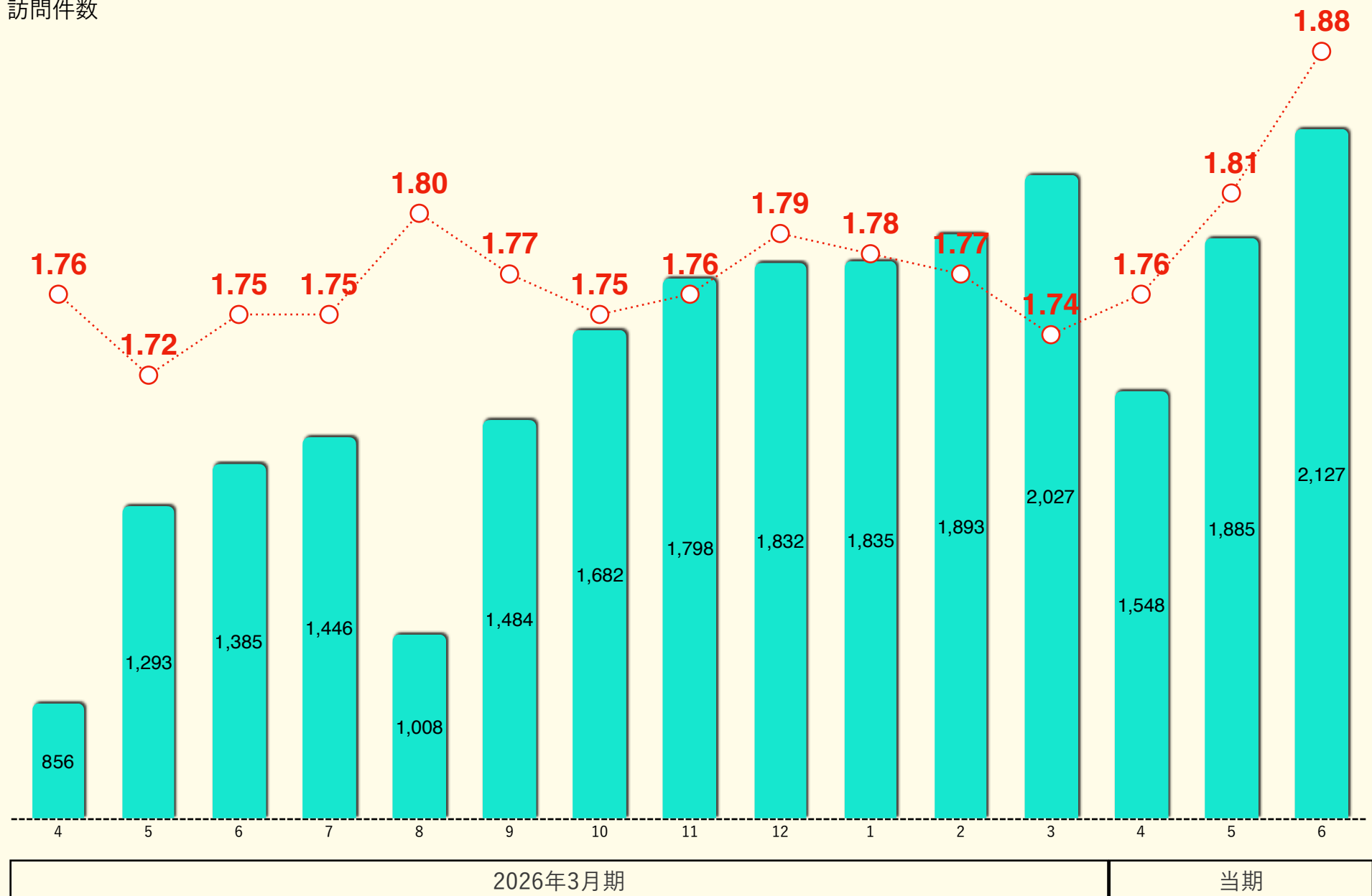
新卒採用を進めるが、単価は経験年数の長い職員による訪問回数の増加で向上。
年度後半に向け、高単価を維持できるよう、職員の配置計画を進める。

今後の方針

雲母保育園との連携を強化し、直営園への訪問回数拡大による売上成長を見込む。

訪問回数と単価

○ 訪問単価（万円）
■ 訪問件数



CHaiLDの加入率

- CHaiLDの加入率は2026年6月度で73.1%と高水準を維持。
- 幼児教材の高加入率と合わせ、写真販売の販促方法の見直し等により売上高は前年から大きく改善。

加入率

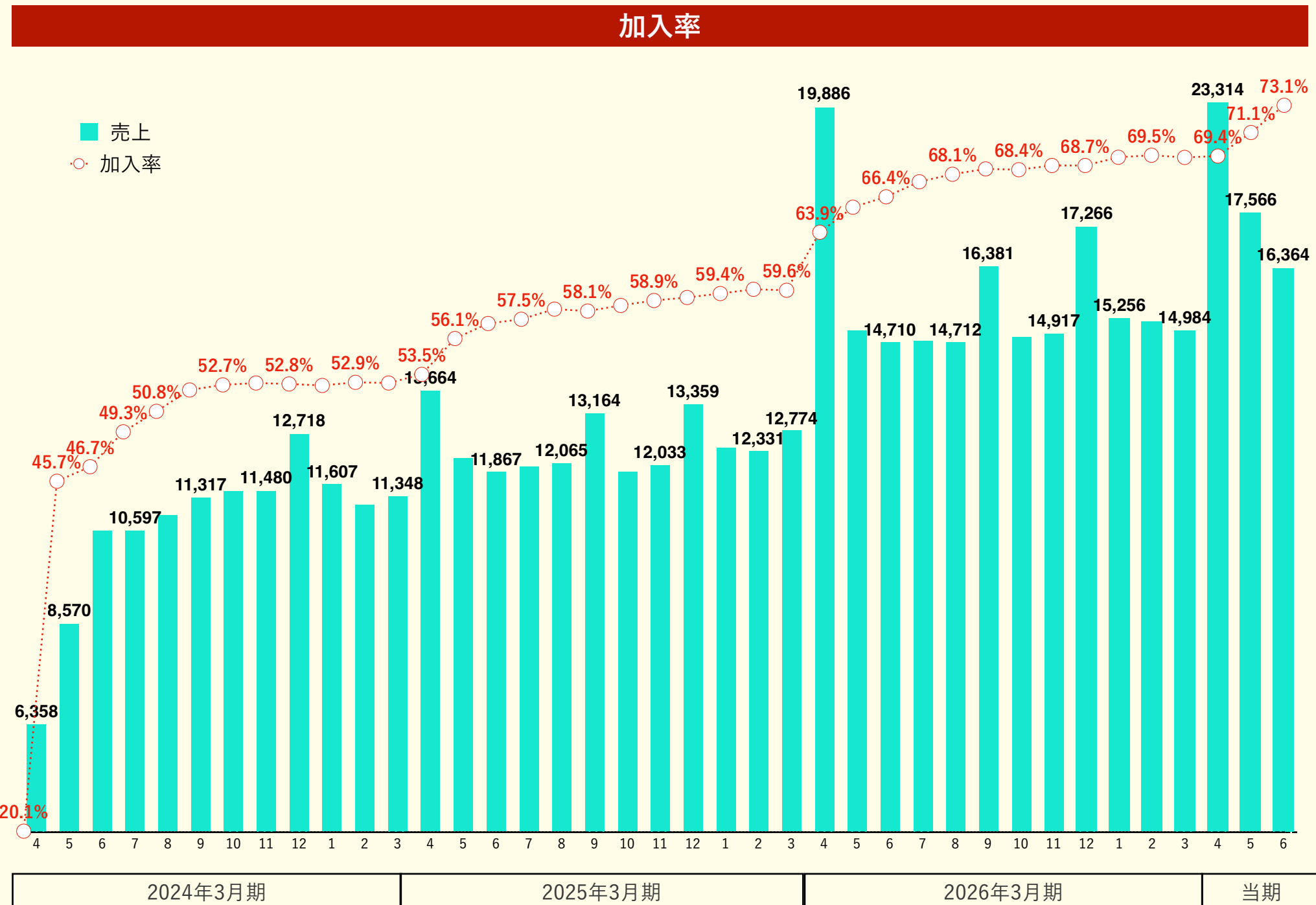
2023年3月期から提供を開始した幼児教育は、加入者が毎年増加し、加入率は4月の園児入れ替え後も69%超の高水準を維持。

写真販売

年3回の販促を毎月末の定例販促に変更し、前年を大きく上回る売上を達成。

幼児教材

思考教育、運動、国語、英語などの幼児教材に加え、2027年3月期は道徳教育を4月より順次導入を進め、6月よりAIAI NURSERY全園で実施。

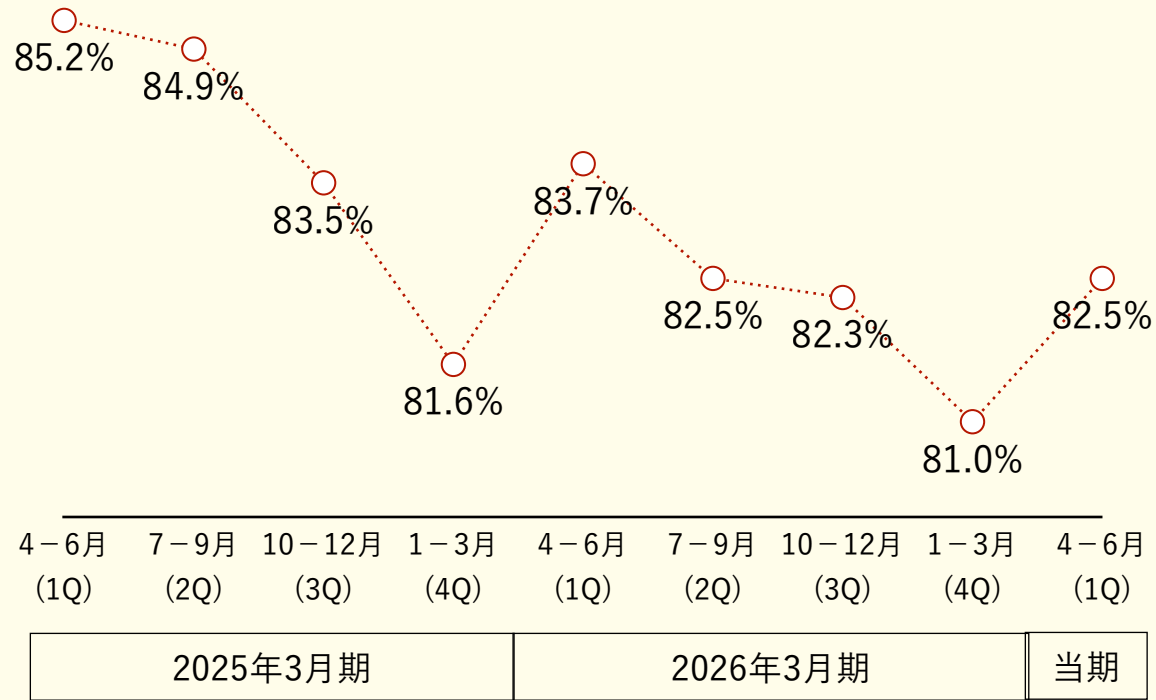




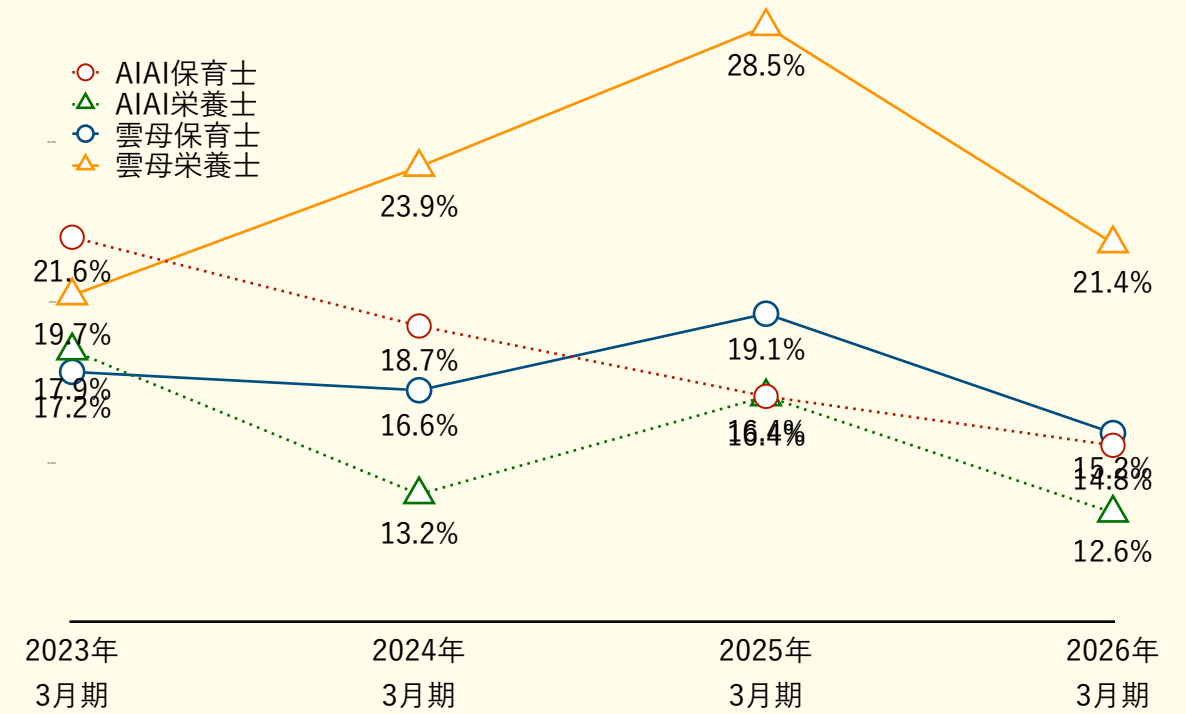
その他KPI

AI&I

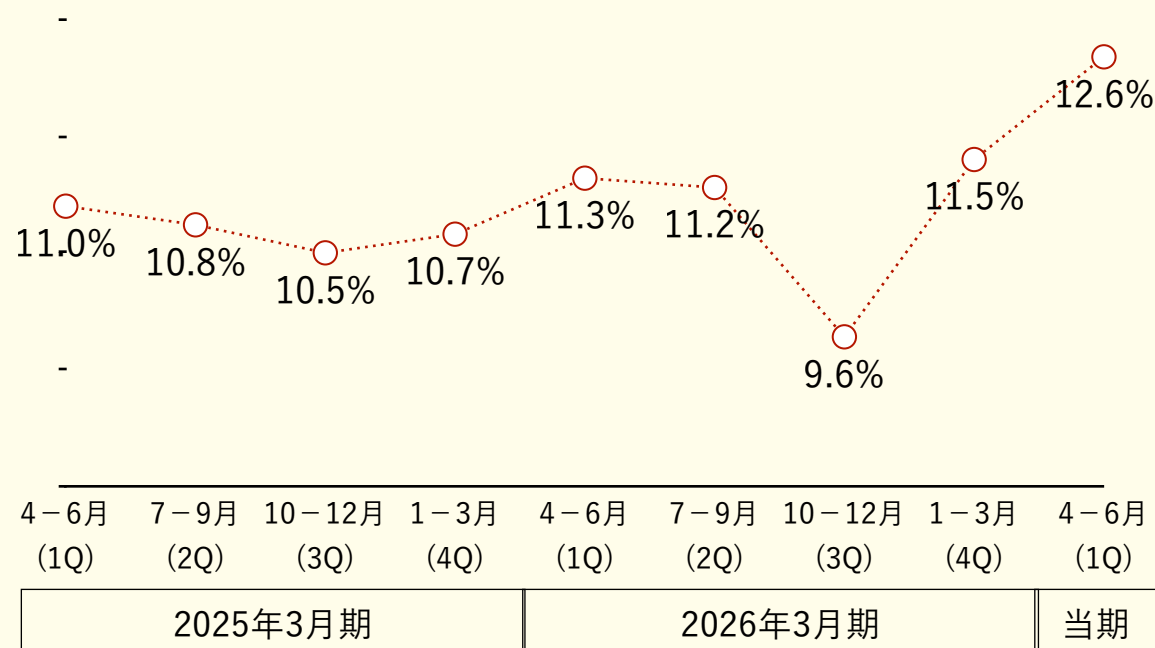
売上高原価率の推移



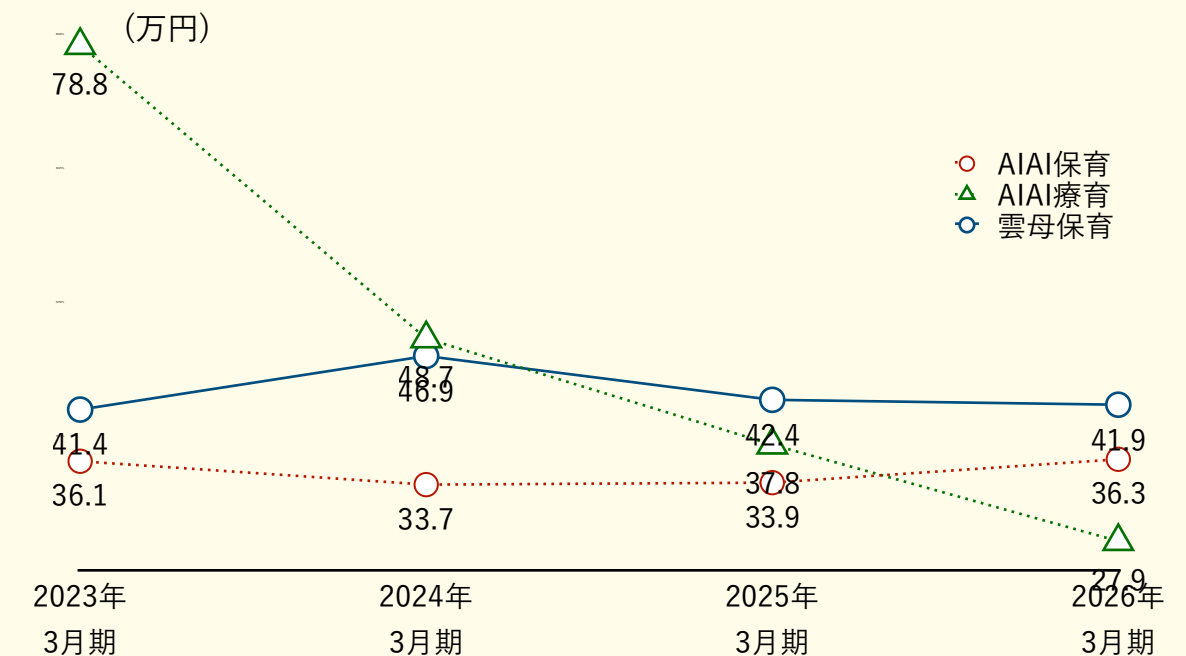
離職率の推移



売上高販管費率の推移



採用単価の推移



5 Appendix



会社概要 -Company Profile-

AIAI



会社名

AIAIグループ株式会社



創業

2007年1月



代表者

貞松 成 (Sadamatsu Joe)



所在地

東京都中央区銀座7丁目16-12



事業

認可保育、児童発達支援、保育所等訪問支援
人材サービス等



事業所

AIAI NURSERY
AIAI PLUS、AIAI REST、AIAI VISIT
雲母保育園、キラササポート等



役員

代表取締役社長兼CEO 貞松 成

取締役COO 木本 彰

取締役CFO 戸田 貴夫

取締役 木原 成記 (監査等委員)

社外取締役 野口 洋 (監査等委員)

社外取締役 豊泉 美穂子 (監査等委員)



代表取締役社長兼CEO

貞松 成 博士 (教育学)

ビジョン

社会課題を解決し、世の中に貢献する

- ・ 早稲田大学大学院政治学研究科修了
(公共経営修士MPA取得)
- ・ 大阪総合保育大学大学院児童保育研究科
(最優秀卒業論文玉置哲淳賞受賞)

- 2007年 株式会社global bridge 創業
・ あい・あい保育園を千葉市幕張に開園
- 2011年 大阪市に関西オフィスを開設
・ Child Care Systemを販売開始
- 2015年 株式会社global bridge HOLDINGSを設立
・ 持株会社体制へ移行
- 2017年 東京証券取引所TOKYO PRO Marketに上場
・ 本社を東京都墨田区錦糸に移転
- 2019年 東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場
- 2022年 A I A I グループ株式会社に社名変更
・ グロース市場へ移行
- 2026年 本社を東京都中央区銀座に移転

免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。

当社は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としております。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の実績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。

したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料およびその記載内容につきまして、当社の書面による同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはご遠慮ください。